1

大谷新学長 就任にあたり

地域中核大学として発展する島根大学

島根県の主要産業であるマテリアル関連産業の発展と、研究開発型企業への転換を目指す地域産業界を、 島根大学が研究と人材育成の両面から牽引し、地域産業を活性化し島根創生を実現する。

島根県の強みを踏まえた島根大学の材料科学分野における

教育・研究の抜本的強化と島根創生

R6:先端マテリアル研究開発協創機構(IAMR&D) (R6産学協創インキュベーションセンター竣工)

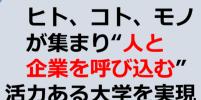
R5:材料エネルギー学部

(R7竣工)

材料エネルギー 学部



論文、外部資金獲得等 実績ある教員が参入



H31:次世代たたら協創 センター(NEXTA)



MATERIALS FOR ENERGY

「材料・素材」を通した 全学的な ビジョン・計画の創造 "材料科学"といえば 島根大学と国内外に 認知される大学へ

H30: 内閣府事業採択(島根県)

「たたらプロジェクト」

1

大谷新学長 就任にあたり

【島根大学×SDGs】 真の持続性を求めて -SDG S からその先へー

- 1, < SDGs取組の促進> SDGsユニットを大学が公式認定し、学内外へのPRを促進
- 2. <取組の見える化> HPの立ち上げによる取組の情報を集約し、SDGsの活動報告を実施
- 3. <客観的な現状把握> サスティナブルキャンパスを目指して、SDGsの取組やバランスを評価
- 4. <地域との連携強化> SDGsの出張講義・SDGs教育企画/学外のSDGs関連ニーズと学内とをつなぐ

島根大学長

意思決定機関



SDGs推進会議

議長:学長 理事、学部長、SDGs担当副学長・学長特別補佐等 により構成

実働部隊



SDGs推進専門部会

リーダー:SDGs担当副学長・学長特別補佐

活動内容に応じてワーキングを組織

協力



学内組織 (各学部や各センター、学生グループ等) 上記4つの取組との関係

SDGsユニット認定

教職員、学生によるSDGsの<u>複数の目標をつないだ達成に向けた活動について、大学として公式に「SDGsユニット」として</u>認定し、その活動をPRする。

(公式認定を示す「バッジ|「ロゴ|等の作成を検討)

HPへの集約化

ホームページを中心に、SDGsの取組に関して情報発信する。 各取組や報告書との関連も含め、大学のSDGs取組を整理し、 わかりやすく公開する。

取組の評価

SDGsの取組を、運営/教育と研究/環境/地域社会の4つの側面で得点化し、現時点の島根大学の取組の強みと課題を把握することで、今後の具体的な取組に反映。

2 SDGs意識醸成 研究の背景や教育の目的について、SDGsとどう関わるのかを 起点に考える仕組みづくり、学生のEMS活動との連携、SDGs ユニットのサポート、学内のSDGs関連の取組企画、ゴール シール配布など

地域と連携した SDGs活動・教育 島根県、松江市、企業などのSDGsの目標達成に向けた活動と の連携を強化、教育へ導入。必要に応じて、外部からのSDGs 関連の要望を学生や教員等の活動とつなぐ。